

原子燃料サイクル事業の現在の状況について

1. 新規規制基準への対応状況

<施設(プラント)の審査>

- ・令和元年 10 月の審査会合にて審査項目の論点はひと通り説明を終え、11 月以降の審査会合では最終補正書の前段となる整理資料について説明しているところである。令和 2 年 1 月末までに全ての項目の説明を一巡した。
- ・設計基準については大きな論点がないことを確認していただいた。
- ・重大事故等については、審査会合における指摘内容について順次回答を行っている。
- ・並行して補正書の準備も進めており、令和 2 年 2 月末の提出を目標にしている。

<地震・津波の審査>

- ・令和元年 10 月 3 日から 4 日の原子力規制委員会による現地調査の際に出戸西方断層南方の地下構造のデータ拡充を求められたことから、審査会合での説明性向上のために、10 月 21 日から約 1 ヶ月かけて鷹架沼南岸において追加の地表地質調査を実施した。
- ・令和元年 12 月の審査会合では出戸西方断層の北端と南端評価について、追加で行ったボーリング調査や露頭調査によりデータを拡充して、これまでの当社の評価結果に変わりはないことを説明し、概ね妥当な検討がなされたと評価された。
- ・令和 2 年 1 月末の審査会合では、再処理工場本体用の安全冷却水系の冷却塔新設に伴う基礎地盤の安定性評価の説明を行い、新設する冷却塔への影響がないことについて、概ね妥当な検討がなされたと評価された。
- ・審査会合における各項目の説明は、令和 2 年 1 月末に終了し、現在はこれまでの審査内容をとりまとめており、2 月中には審査会合で説明できるよう準備を進めている。

2. ウラン濃縮事業

(1) 運転状況

生産運転停止中

3. 低レベル放射性廃棄物埋設事業

(1) 低レベル放射性廃棄物受入れ・埋設実績

| | | 受入れ本数 | 埋設本数 |
|---------------------------------|---------|---------|---------|
| 平成 31 年 4 月～ 令和元年 12 月末までの実績 | 1 号埋設設備 | 114 本 | 320 本 |
| | 2 号埋設設備 | 4,696 本 | 6,640 本 |
| 平成 31 年 4 月～令和元年 12 月末までの合計 | | 4,810 本 | 6,960 本 |

(2) 六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターに係る廃棄物埋設事業変更許可申請書の一部補正

令和 2 年 1 月 20 日に、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターに係る廃棄物埋設事業変更許可申請書(平成 30 年 8 月 1 日申請)の一部補正を原子力規制委員会に提出した。

一部補正の主な内容は、以下のとおり

<3号廃棄物埋設施設の増設>

- ・埋設設備への雨水浸入の抑止設計の追加(1号7,8群含む)
- ・覆土後の地下水の監視測定方法の具体的な内容の追加(1・2号含む)
- ・線量の計算入力値の基本的な考え方の見直し(1・2号含む)
- ・竜巻、森林火災等に対する設計の見直し(施設に大きな影響を与えないため)(1・2号含む)

<1号廃棄物埋設施設の変更>

- ・覆土完成時期の変更
(変更申請時:令和19年度まで→今回補正時:1~6群を令和9年度まで 7,8群を令和16年度まで)

<2号廃棄物埋設施設の変更>

- ・覆土完成時期の変更(変更申請時:令和13年度まで→今回補正時:令和12年度まで)

4. 高レベル放射性廃棄物管理事業

(1) 返還ガラス固化体受入れ・管理実績

| | 受入本数 | 管理本数 |
|---------------------|------|------|
| 平成31年4月～令和元年12月末の実績 | 0本 | 0本 |

5. 再処理事業

(1) 工事の進捗状況(令和元年12月末現在)

再処理施設本体工事進捗率 約99%

(2) アクティブ試験の進捗率(令和元年12月末現在)

総合進捗率 約96%

(3) 使用済燃料受入れ量、再処理量

| | | 受入れ量 | | 再処理量 | |
|---------------------------|-----|------|------|------|------|
| 平成31年4月～ 令和元年12月末までの実績 | PWR | 0体 | 0トンU | 0体 | 0トンU |
| | BWR | 0体 | 0トンU | 0体 | 0トンU |
| 平成31年4月～令和元年12月末までの合計 | | 0体 | 0トンU | 0体 | 0トンU |

(4) 令和元年度第3四半期保安検査の結果

令和元年8月26日に発生した「再処理工場 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における廃気処理設備の第1排風機両系の停止」(前回の評価委員会 11/5 報告済)について、令和2年2月5日の原子力規制委員会において、保安規定違反(監視)との判定を受けた。

今回の判定を真摯に受け止め、引き続き再発防止に取り組んでいく。

6. MOX 燃料加工事業

(1) 工事の進捗状況(令和元年12月末現在)

工事進捗率 約11.8%

以上

「詳細については、当社ホームページから確認することができます。(https://www.jnfl.co.jp/)」